基盤教育科目

用語解説

「基盤教育科目」は、全学部共通で開講される授業科目です。卒業要件単位数については、学科ごとに異なりますので、前項（P. 68 ～ P. 81）の各学科の表を確認してください。

Ⅰ. ファウンデーション科目群

▶ 初年次科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
新入生演習		2	○				「新入生演習」、「コンピュータ入門」は1年次春学期に全員履修とする。
数的処理入門		2	○	○	○	○	
日本語表現		2	○	○	○	○	
コンピュータ入門		2	○	○	○	○	
追手門UI論		2	○	○	○	○	

▶ 外国言語科目（英語）

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
General Reading 1		1	○	○	○	○	国際教養学科以外の学生は、「General Reading 1・2」、「Oral English 1・2」は1年次に全員履修とする（外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者を除く）。ただし、やむを得ない理由により当該科目を履修することが困難であると大学が認めた場合は、代替措置をとることがある。国際教養学科の学生は、1年次春学期に「English for Qualification 1」「English for Conversation 1」、1年次秋学期に「English for Qualification 2」「English for Conversation 2」、2年次春学期に「English for Qualification 3」「English for Conversation 3」を全員履修とする。
General Reading 2		1	○	○	○	○	
Oral English 1		1	○	○	○	○	
Oral English 2		1	○	○	○	○	
Advanced English 1		1		○	○	○	
Advanced English 2		1		○	○	○	
English for Qualification 1		2	○	○	○	○	
English for Qualification 2		2	○	○	○	○	
English for Qualification 3		2		○	○	○	
English for Conversation 1		1	○	○	○	○	
English for Conversation 2		1	○	○	○	○	
English for Conversation 3		1		○	○	○	
Academic English 1		1		○	○	○	
Academic English 2		1		○	○	○	

▶ 外国言語科目（ドイツ語）

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
ドイツ語 1		1	○	○	○	○	
ドイツ語 2		1	○	○	○	○	

▶ 外国言語科目（フランス語）

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
フランス語 1		1	○	○	○	○	
フランス語 2		1	○	○	○	○	

▶ 外国言語科目（中国語）

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
中国語 1		1	○	○	○	○	
中国語 2		1	○	○	○	○	

▶ 外国言語科目（日本語）

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
日本語読解中級1		1	○	○	○	○	外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者は、1年次春学期に「日本語読解中級1」「日本語聴解中級1」、1年次秋学期に「日本語読解中級2」「日本語聴解中級2」、2年次春学期に「日本語読解上級1」「日本語聴解上級1」、2年次秋学期に「日本語読解上級2」「日本語聴解上級2」を全員履修とする。
日本語読解中級2		1	○	○	○	○	
日本語聴解中級1		1	○	○	○	○	
日本語聴解中級2		1	○	○	○	○	
日本語読解上級1		1		○	○	○	
日本語読解上級2		1		○	○	○	
日本語聴解上級1		1		○	○	○	
日本語聴解上級2		1		○	○	○	

▶ 体育科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
スポーツ実習 1		1	○	○	○	○	
スポーツ実習 2		1	○	○	○	○	
ネイチャーアクティビティ 1		1	○	○	○	○	
ネイチャーアクティビティ 2		1	○	○	○	○	

Ⅱ．リベラルアーツ・サイエンス科目群

▶ 人文・社会系科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
哲学入門		2	○	○	○	○	
倫理学入門		2	○	○	○	○	
言語学入門		2	○	○	○	○	
人文地理学入門		2	○	○	○	○	
日本の歴史と文化		2	○	○	○	○	
オーストラリアを学ぶ		2	○	○	○	○	
アジア・オセアニアの多文化社会		2	○	○	○	○	
欧米の歴史と文化		2	○	○	○	○	
宗教と社会		2	○	○	○	○	
異文化理解		2	○	○	○	○	
比較文化概論		2	○	○	○	○	
ことばと文化		2	○	○	○	○	
現代の子どもと教育		2	○	○	○	○	
人間関係と心理		2	○	○	○	○	
余暇とレクリエーション		2	○	○	○	○	
共生社会と福祉		2	○	○	○	○	
ジェンダー論		2	○	○	○	○	
メディア論		2	○	○	○	○	

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
経済学入門		2	○	○	○	○	
現代社会の法と政治		2	○	○	○	○	
現代社会と人権		2	○	○	○	○	
日本国憲法		2	○	○	○	○	
社会調査入門		2	○	○	○	○	
現代企業入門		2	○	○	○	○	
ファイナンス入門		2	○	○	○	○	
国際関係入門		2	○	○	○	○	
社会学入門		2	○	○	○	○	
心理学入門		2	○	○	○	○	
法学入門		2	○	○	○	○	
ボランティア論		2	○	○	○	○	
国際異文化理解 1		10		○	○	○	大学が認めた留学生専用科目
国際異文化理解 2		10		○	○	○	

▶ 芸術・文化・身体系科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
言語文化演習		2	○	○	○	○	
地域文化の創造		2	○	○	○	○	
くらしと文化		2	○	○	○	○	
民俗学入門		2	○	○	○	○	
考古学入門		2	○	○	○	○	
芸術学入門		2	○	○	○	○	
日本の伝統芸能		2	○	○	○	○	
身体表現入門		2	○	○	○	○	
トレーニング論		2	○	○	○	○	
スポーツ学入門		2	○	○	○	○	
スポーツ特殊講義		2		○	○	○	

▶ 自然系科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
科学技術の未来と歴史		2	○	○	○	○	
統計学入門		2	○	○	○	○	
生物学		2	○	○	○	○	
科学基礎入門		2	○	○	○	○	
宇宙と物理学		2	○	○	○	○	
環境の科学		2	○	○	○	○	
自然地理学		2	○	○	○	○	
自然科学概論		2	○	○	○	○	

Ⅲ．主体的学び科目群

▶ キャリア形成系科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
スポーツケア演習		2	○	○	○	○	「キャリアデザイン論」は 1 年次春学期に全員履修とする。
キャリアデザイン論		2	○				

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
キャリア形成プロジェクト		2	○	○	○	○	
キャリア言語		2	○	○	○	○	
キャリア数学		2	○	○	○	○	
インターンシップ実習Ⅰ		1	○	○	○	○	
インターンシップ実習Ⅱ		1	○	○	○	○	
インターンシップ実習Ⅲ		1	○	○	○	○	
インターンシップ実習Ⅳ		1	○	○	○	○	

▶ キャリア展開系科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
リーダーシップ入門		2	○	○	○	○	
ファシリテーション入門		2	○	○	○	○	
リーダーシップ実地基礎演習		2	○	○	○	○	
リーダーシップゼミナール1		2		○	○	○	リーダー養成コース生専用科目
リーダーシップゼミナール2		2		○	○	○	
リーダーシップ実地発展演習		2		○	○	○	
教科基礎力演習		2			○	○	
教師力養成演習1		2		○	○	○	
教師力養成演習2		2		○	○	○	
交換留学Ⅰ		4	○	○	○	○	
交換留学Ⅱ		4	○	○	○	○	
海外セミナー		4	○	○	○	○	
短期海外セミナー		2	○	○	○	○	
Japan Program Ⅰ		2	○	○	○	○	大学が認めた留学生専用科目
Japan Program Ⅱ		2	○	○	○	○	
Japan Program Ⅲ		2	○	○	○	○	
Japan Program Ⅳ		2	○	○	○	○	
Japan Program Ⅴ		2	○	○	○	○	
Japan Program Ⅵ		2	○	○	○	○	
Japan Program Ⅶ		2	○	○	○	○	
Japan Program Ⅷ		2	○	○	○	○	
Japan Program Ⅸ		2	○	○	○	○	
Japan Program Ⅹ		2	○	○	○	○	
海外インターンシップ		4		○	○	○	
国際現地研修		4		○	○	○	
グローバルキャリア論		2		○	○	○	
日本事情1	2		○	○	○	○	外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者のみ
日本事情2	2		○	○	○	○	
日本事情3		2		○	○	○	
日本事情4		2		○	○	○	
留学生キャリア形成演習1		2			○	○	
留学生キャリア形成演習2		2			○	○	

▶「インターシップ実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」単位認定について

①～③の条件をすべて満たした場合、基盤教育科目キャリア形成系科目の「インターンシップ実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の単位認定の対象となります。詳細は各学期初めに実施するインターンシップ説明会に出席して下さい。また、「インターンシップ実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」のシラバスも合わせて参照してください。

①実習内容

（1）本学が定めるガイドラインに則った、学習効果が期待できる実習プログラムであること
（窓口にて事前相談すること。大学紹介のインターンシップは全てこの条件を満たします。）

（2）5 日間（30 時間）以上の連続性のある実習時間が確保されていること
※時間数は休憩時間を除いた実勤務時間になります

②成績評価の対象となる成果物

（1）実習日誌（様式は大学指定のもの以外も可）の提出

（2）成果報告会での発表資料の提出

③研修・成果報告会への出席

（1）事前、事後の全研修への出席と課題提出

（2）夏のインターンシップ参加の場合は 10 月に、冬春のインターンシップ参加の場合は翌年度 4 月に開催する成果報告会への出席・発表（詳細は後日通知）

認定単位数

時間数	単位数
30 時間以上	1 単位
+30 時間以上（計 60 時間以上）	+1 単位（計 2 単位）
+30 時間以上（計 90 時間以上）	+1 単位（計 3 単位）
+30 時間以上（計 120 時間以上）	+1 単位（計 4 単位）

※　一回の実習日数が連続性のある 5 日間以上であることを条件とする

※　時間数は休憩時間を除いた実勤務時間とする。

※　単位認定は半期ごとに行われるため、時間数を次期以降に持ち越すことは出来ない

例）

・A 社で 3 日 20 時間 +B 社で 3 日 20 時間、合計 40 時間実習に参加した場合
⇒単位認定されない（1 回の実習日数が 5 日間以上という条件を満たしていない）

・A 社で 9 日 70 時間の実習に参加した場合
⇒ 2 単位を認定（1 回の実習日数が 5 日間以上で、合計時間数が 60 時間以上である）

・A 社で 5 日 35 時間 +B 社で 7 日 55 時間、合計 90 時間実習参加した場合
⇒3 単位を認定（1 回の実習日数がいずれも 5 日間以上で、合計時間数 90 時間以上である）

▶「交換留学Ⅰ・交換留学Ⅱ・海外セミナー・短期海外セミナー」単位認定について

用語解説

交換留学制度

学内選抜を経て交換留学生に選ばれると、本学と学生交換協定を締結している海外の大学へ本学に籍を置いたまま留学することができます。

留学中も本学の授業料は必要です。ただし留学先大学の授業料は免除（一部附属語学教育機関は有料）され、本学より奨学金支給等経済的な支援が受けられます。

毎年春学期に、翌年度の交換留学に関する説明会が実施されます。

認定単位：４単位

応募資格：学力、人物共に優秀で交換留学の目的を理解し、本学の国際交流に貢献できること。別途、留学先ごとに語学要件があります。詳細は募集要項で確認してください。

応募方法：国際交流教育課主催の募集説明会に出席し、その後、必要書類を提出してください。詳細は、国際交流教育課掲示板や追大 Web システム（CAMPUS SQUARE）で発表します。

【中期留学】

渡 航 先：インド、オーストラリア、アメリカ、カナダ、中国、タイ、イギリス、韓国、オランダ、ドイツ、台湾、スペイン、チェコ、ベトナム

期　　間：約３ヶ月～６ヶ月　（留学先によって異なる）

【長期留学】

渡 航 先：アメリカ

期　　間：約９ヶ月

短期海外セミナー

語学研修をはじめ、文化や経済、歴史等を学ぶ短期留学プログラムです。

渡 航 先：台湾、韓国、タイ、イギリス、オーストラリア等

期　　間：約１～４週間

単位認定：２単位

応募方法：募集説明会に出席し、その後、必要書類を提出してください。詳細は、春学期はじめに追大 Web システム（CAMPUS SQUARE）で発表します。

認定留学制度

本学学部学生の２年生から４年生で、留学するに足る一定の単位を修得した学生に限り、あらかじめ学内の審査・許可を受けた上で、自分が選んだ留学先で修学することができる制度です。

認定留学の期間は１学期または２学期とし、２学期までは留学期間も本学の在学期間に算入しますので、休学することなく留学ができます。

認定留学が承認されると、当該学期にかかる授業料相当の奨学金が支給されます。また帰国後、留学先で修得した単位の認定を願い出ることができます。

申請資格・出願時期：出発する時期により異なります。（下記の表参照）

出願時点の学年	出発時期	修得単位に関する条件	出願時期
２年次	秋学期[1]に出発	１年次終了時点で 34 単位以上	５月末まで
	次年度（３年次）の春学期[2]に出発	春学期末時点で 50 単位以上	１１月末まで
３年次	秋学期[1]に出発	２年次終了時点で 68 単位以上	５月末まで
	次年度（４年次）の春学期[2]に出発	春学期末時点で 85 単位以上	１１月末まで

留学先の条件：認定留学の対象となるのは、本学が協定を締結している大学[3]や、学位授与権を持つ正規の高等教育機関（大学・短期大学等）です。それ以外（語学学校等）への留学は認められません。

1. 秋学期に出発

春学期末試験後の出発

2. 春学期に出発

秋学期末試験後の出発

3. 協定を締結している大学

協定校は大学ホームページ内の「国際交流・留学」から確認できます。

用語解説

単　位　認　定：最大６０単位
※認定対象科目は、原則として学科科目および基盤教育科目です。留学先で修得した単位全てが認定されるとは限りません。
申　請　方　法：まずは国際交流教育課へ相談し、認定留学に関する詳しい説明を受けてください。

その他の留学[4]について

留学に興味はあるけれど、どのように手続きを進めたら良いのか分からない、自分に合った留学先・留学方法について相談したい等、海外留学について疑問や質問がある場合は、国際交流教育課を訪ねてください。留学情報誌や諸外国のガイドブック等揃っており、海外留学と希望する様々な相談に対応しています。

また、大学では留学以外にも様々な国際交流の機会を学生のみなさんに提供しています。詳細は、大学ホームページや追大 Web システム（CAMPUS SQUARE）に掲示しますので、積極的に参加してください。

4. その他留学
私費留学により休学をする場合は、別途手続きが必要です。⇒ P. 49 を参照

▶ 放送大学の科目及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合

大学で履修した科目を修得する以外に、放送大学の科目を修得した場合や、資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合、主体的学び科目群の単位として認定され、あわせて最大４単位を上限に卒業要件単位として認められます。

【特徴】
1．放送大学の科目及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合に認められる単位は履修単位制限[5]に含まれません。
2．履修登録とは別の手続きが必要です。
3．単位が認められる科目数及び資格・検定数には限りがあります。
4．単位認定例

放送大学の科目→１科目合格＝２単位 資格・検定→２つの資格について取得＝４単位	認定される６単位のうち、４単位まで卒業要件として算入されます。

5. 履修単位制限
⇒ P. 121 を参照。

放送大学

本学と放送大学は単位互換協定を結んでおり、放送大学の提供するテレビ・ラジオ・インターネットによる学習にて修得した単位を認定します。放送大学の科目を受講するには、オリエンテーションに出席し、所定の手続きを行う必要があります。詳細については追大 Web システム（CAMPUS SQUARE）にてお知らせします。放送大学の授業は、第１学期（４月～７月）、第２学期（10 月～２月）に実施され、本学では第１学期を春学期、第２学期を秋学期として扱います。

【１】受講手続きについて

１　オリエンテーションに出席する
第１学期（春学期）の受講について：前年度の１月頃 第２学期（秋学期）の受講について：その年度の６月頃

↓

２　教務課または総合オフィスへ必要書類を提出する
受講開始後の連絡等については、放送大学から学生宛に直接連絡がありますので、放送大学の指導に従ってください。

↓

３　授業を受ける